（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユー西新井　放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年　2月　18日　～　令和8年　3月　6日		
○保護者評価有効回答数	（対象者数） 35名	（回答者数）	16名
○従業者評価実施期間	令和8年　2月　18日　～　令和8年　3月　6日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数） 12名	（回答者数）	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　3月　9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	夏祭りやクリスマス会を毎年開催している。	毎年、夏休みに夏祭りを開催、冬休みにクリスマス会を開催して、普段交流のない児童が顔を合わせてコミュニケーションを取ったり、保護者が顔を合わせる機会になっている。児童を主体として出し物をしたり、芸人さんのパフォーマンスを見て、みんなで楽しさなどを共有できる場となっている。	今後は以前よりも児童を主体として児童の意見をもっと取り入れ、イベントなどを開催していくようにする。外出レクも増やしていく。食をテーマにしたレクリエーション活動を行なう。児童が楽しめる活動を職員と児童が一環となって提案する。
2	BCP研修や強度高度障害の研修などに参加し、支援の強化に努めている。	定期的に開催されるBCP研修にて災害時の対応の仕方や、感染症流行時の対応についての訓練を行っている。事業者でも定期的に研修を行ない、それぞれ調べてパワーポイントにまとめたものを発表して伝達している。その他、東京都で開催される研修にも参加し、職員の能力強化を図っている。	実際の災害を想定した避難訓練を実施する。強度行動障害の児童に関しては行動記録を作成し、行動パターンを職員間などで把握する。
3	充実した運動療育を行なっている。	児童が楽しみながら協調性運動障害の改善などができるよう、トレキング、バランスストーン、ボルダリング等の運動療育を行っている。	長期休みなどはトレキング週間やボルダリング週間を設ける。活動記録動画を撮り、改善点があれば児童に動画を見せながらアドバイスをし、運動機能の向上を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の住民との交流の機会が少ない。	個人情報や安全面を配慮して地域の住民は招待できていないが、イベントの情報は個人情報を保護した上で、インスタグラムなどに情報を公開している。	外出イベントや公園での遊びの中で地域の人と関わる。地域の清掃活動に参加し、地域の人から認知してもらう。
2			
3			